

男女共同参画事業【佐渡市】

個別事業費	77 千円
交付金額	38 千円

地域の实情と課題

令和6年度に行った市民意識調査によると、1日の平均生活時間における女性の「家事・育児・介護などの時間」は、女性のほうが2時間ほど多く、「自分の自由に使える時間」は男性のほうが1時間以上多くなっており、女性の家事・育児等の負担が依然として高くなっている。

また、地域活動における男女の役割分担について、「葬祭の集まりでお茶や料理などの準備をする人」は女性の割合が高く、「自治会長や町内会長、集落長」、「消防団員」は男性の割合が高くなっており、役割によって男女間の分担に明確な差がみられる。生活や地域社会における性別役割分担意識を解消し、男女共同参画を実践に繋げるための支援をおこなう必要がある。

女性があらゆる分野に参画し、その個性と能力を十分に発揮することができる社会づくりが必要である。

事業の特徴

女性の視点に立った防災意識の醸成、防災分野における女性参画割合の向上および組織における防災体制の改善・強化を目的としたセミナーを開催する。震災や豪雨災害などにより、市民の防災意識は高くなっているが、男女共同参画の意識はいまだ低い状況を改善し、ひとりひとりの意識の醸成から、組織における女性や要支援者に配慮した防災体制の構築について、実践的に学ぶ機会を提供する。

事業の効果

佐渡市における女性防災士の資格取得者や女性地域防災リーダーの増加

目的・目標

	目標・KPI	目標値	実績
事業目標	佐渡市防災会議の民間委員のうち女性の数	4人 (R11)	0人 (R6)
事業KPI	佐渡市地域防災リーダーにおける女性の割合	5% (R7)	5% (R7)

連携団体

佐渡市防災課

今後の課題

男性の家事・育児・介護などの平均時間は増加をしたものの、家庭内での固定的性別役割分担意識は依然として根強いことから、男女平等な役割分担の促進が必要である。

事業の概要

『女性の視点を取り入れた防災意識醸成』

女性の視点に立った防災意識の醸成、防災分野における女性参画割合の向上および組織における防災体制の改善・強化を目的としたセミナーの実施

開催日 令和7年10月5日（日）
午後1時30分～午後3時15分

会場 両津地区公民館

講師 日本防災士会新潟県支部
インクルーシブ防災部

参加者 6名

- 内容
- 1 防災とは？
 - 2 女性目線の防災と避難所運営
 - 3 私が防災士になって
 - 4 グループディスカッション
 - 5 まとめ

